国語科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	国語科	学年・組	第２学年４組	場所	第２学年４組教室
単元名	デジタル市民として生きる　（第１時／全２時）				
本時の目標	・文章の構成や論理の展開に着目して内容をとらえ、筆者の主張とその根拠を整理することができる。				
本時の評価規準	・思考・判断・表現：情報に関する内容をとらえ本文中の情報や筆者主張の関係を整理している。 ・主体的に学習に取り組む態度：自分の思考の過程を振り返り、他社の意見や本文をもとに考えを深めることができる。				

本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて
	思考・判断・表現	文章の構成や論理の展開に着目し、本文の具体的な情報を適切に取り上げながら、筆者の主張とその根拠の関係を明確に整理している。	おおむね満足できる 本文の情報を取り上げ、筆者の主張とその根拠の関係を整理している。	筆者の主張が述べられている部分や、主張を支える具体的な情報に着目できるよう、重要な語句や段落に印を付けさせ、主張と根拠を対応させるワークシートを活用する。
	主体的に学習に取り組む態度	自分の読み取りや考えを振り返り、他者の意見と本文の内容を関連付けながら、筆者の主張について自分の考えをさらに深めようとしている。	自分の読み取りや考えを振り返り、他者の意見や本文の内容をもとに、自分の考えを見直そうとしている。	振り返りの視点を具体的に示し、「友達の意見で参考になったこと」「本文を読んで気付いたこと」などの記述の手掛かりを与え、自分の考えを振り返ることができるようにする。

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	文章の構成や論理の展開に注目し、筆者の主張を読み取る　【探究・思考型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	教材文の構成や論理の展開に着目して読む活動を通して、文章中の情報と筆者の主張との関係を整理し、筆者がどのような根拠をもとに主張を展開しているのかを捉えられるようにする。また、読み取ったことをワークシートにまとめ、他者と共有することで、自分の考えを深めるとともに、文章を論理的に読む力を養う。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

文章を読んで、筆者の主張だけでなく、その主張を支える根拠にも注目することが大切だと分かった。本文の情報を整理すると、筆者がなぜそのように考えているのかが分かりやすくなった。友達の意見と比べることで、自分が気付かなかった文章のつながりにも気付くことができた。次は、根拠と主張の関係を意識して、ほかの文章も読んでみたい。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の構成や論理の展開について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開に着目し、内容を捉え、筆者の主張とその根拠の関係を整理している。	進んで文章の構成や論理の展開に着目して読み、学習課題に沿って筆者の主張や根拠を捉え、自分の考えを深めようとしている。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点			
1 本時	本文通読、文章構成把握 筆者の主張を読み取る。	思・判・表 主体的	2	前時の振り返り、筆者の主張と根拠を踏まえ、自分の意見と他者の意見を比較し、考えを深める。	思・判・表 主体的

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 (評価方法)
	めあて：文章の構成や論理の展開に注目し、筆者の主張を読み取る		
導入 （１０分）	教材名「デジタル市民」について。本時のめあての確認。	デジタル社会や情報との関わりについて、生徒の日常生活を想起させる。本時はまず文章の構成や筆者の主張を正確に読み取ることを確認する。	学習課題を理解し、本文を読み取ろうとしている。 （観察）
展開１ （１０分） 展開２ （１０分）	教材文を通読し、文章全体の内容を大まかに捉える。各段落の内容を簡潔にまとめる。 文章の構成や論理の展開に着目し、段落ごとの役割を考える。筆者の主張が述べられている部分を探す。	段落ごとの要点を短い言葉で表現させ、文章全体の流れを把握させる。内容を捉えにくい生徒には、段落内の重要な語句に着目するよう促す。 段落相互のつながりに着目させ、文章がどのような順序で展開しているかを考えさせる。	本文の内容を捉え、段落ごとの要点を整理している。 （ワークシート） 文章の構成や論理の展開に着目し、筆者の主張を読み取っている。（ワークシート）
展開3 （ １５分）	筆者の主張を支える根拠や具体的な情報を本文から探す。主張と根拠の関係をワークシートに整理する。ペアや全体で読み取った内容を交流し、本文に基づいて自分の読み取りを確かめる。	「筆者は何を主張しているか」「その主張を支える情報はどこにあるか」を問い、主張と根拠を対応させる。根拠を見つけにくい生徒には、本文中の具体例や重要な語句に着目させる。交流では、本文のどの部分を根拠にしたのかを明確に説明させ、読み取りの違いを確認させる。	本文の情報を取り上げ、筆者の主張とその根拠の関係を整理している。（ワークシート・発言）
まとめ （　5分）	本時のめあてに沿って、読み取ったことを振り返る。次時の学習課題を確認する。	「筆者の主張は何か」「どのような根拠からその主張が導かれているか」という視点で振り返らせる。次時は、文章の内容を踏まえ、デジタル市民としての生き方について考えを深めることを伝える。	主体的に学習に取り組む態度： 本時の読み取りを振り返り、本文をもとに理解を確かめようとしている。 （振り返りシート）